

令和4年度

パワーアップ・市民活動応援事業

応募の手引き

募集期間

2022年4月28日(木)～2022年5月22日(日)

大津市市民活動センター

1 パワーアップ・市民活動応援事業とは

パワーアップ・市民活動応援事業は、大津市の「協働のまちづくり」を推進するため、地域の課題解決やまちの活性化に向けて取り組む、市民団体等の主体的なまちづくり活動を支援する補助制度です。

これまでに実施された事業（一部）

《共生のまち大津・演劇プロジェクト》

障がい者が自ら舞台に立ち表現する劇団と市民劇団が協力し、演劇公演を行うことで、表現する行為には、障がいのあるなしを問わないことを伝え、「心のバリアフリー化」をめざして、2日間にわたる演劇公演を行い、上映した作品をもとに地域や学校、公共施設等での出張公演を行いました。



《地域とアートプロジェクト》

成安造形大学の美大生の強みと地域の強みを生かして、堅田をより「面白いまち」にすべく学生と地域が協力。

「みんなで一緒に作つくる」を目標に、地域住民が参加し、交流できる仕組みづくりとしてフィールドワークや協働制作、成果物の展示を実施しました。

2 補助対象事業

本事業の趣旨に沿う事業で、次に掲げる要件を全て満たすものが補助対象となります。

- (1) 大津市内で実施する事業であること
- (2) 年度内に完了する事業であること
- (3) 同じ事業について、大津市の財源による他の補助金や委託金等及び国・地方公共団体・その他外郭団体（財団法人等）の助成金や委託金等を受けていないこと
民間の助成金を受けている場合はご応募いただくことができますが、補助上限額が変わることがあるため、ご注意ください。
- (4) 不特定かつ多数の人の利益に寄与する公益性のある活動であること
（特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でないこと）
- (5) 営利を主な目的とする事業でないこと

3 補助の種類

種類	A：トライアップ部門	B：「ワカモノ」チャレンジ部門
対象事業	まちづくり活動に取り組もうとする設立5年以内の団体が津市内で実施する「 <u>歴史・文化</u> 」「 <u>スポーツ</u> 」「 <u>福祉</u> 」をテーマとした事業 (※) 事業例は以下のとおり	まちづくり活動に取り組もうとする団体が津市内で実施する事業
応募資格	構成員が10人以上で7割以上が津市民の団体	構成員が10人以上で7割以上が若者(39歳以下の方)の団体
募集資	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>大津市市民活動センターの市民活動団体情報に登録している団体</u> ●津市内に活動拠点をもち団体 ●事業の計画・実施・実績報告及び報告会の出席・報告に至るまで、責任を持って遂行できる団体 ●国および地方公共団体でないこと ●宗教活動や政治活動、営利を目的とした団体でないこと ※今回の募集に対して応募できるのは、 <u>1団体1部門1事業</u> となります。	
格等	補助対象経費から、事業収入を差し引いた額の <u>1/2</u> 以内 上限：20万円	補助対象経費から、事業収入を差し引いた額の <u>2/3</u> 以内 上限：20万円

(※) トライアップ部門のテーマ(事業例)

テーマ	事業例
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ■大津の歴史文化を活かした、<u>新たな発想による文化・芸術活動</u> ■地域の持つ文化資産の<u>再発見につながる活動</u> ■<u>子どもや若者の文化・芸術活動の促進につながる活動</u> など
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ■誰もが参加できる<u>新たなスポーツ活動</u> ■市民の継続的な健康増進につながる<u>新たなスポーツ活動</u> ■<u>大津の自然や特長を活かしたスポーツの普及・振興につながる活動</u> など
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て支援や高齢者の見守り活動 ■福祉活動の新たな<u>人材育成につながる活動</u> ■<u>専門的なスキルを持ったNPO団体などの相談・支援活動</u> など

4 補助対象経費

- (1) 賃 金 事業実施のために臨時に必要となるアルバイト等の人件費
- (2) 報 償 費 講師・専門家・ボランティア等への報酬・謝礼金（交通費含む）等
- (3) 消 耗 品 費 用紙等の消耗品、資材等の購入費、会議時の湯茶代（ペットボトル飲料等）
- (4) 印刷製本費 ポスター・チラシ・資料等の印刷代・コピー代
- (5) 役 務 費 事業実施に係る通信料・運搬料（切手代等）、手数料（振込手数料等）、保険料等
- (6) 委 託 料 団体構成員で行えない業務の外部委託費
- (7) 使用料・賃借料 会場等の使用料、機器類の賃借料
- (8) 交 通 費 補助事業のために必要とする団体構成員の交通費
- (9) 上記(1)から(8)までの項目以外に、**事業実施のために必要な経費**で、審査委員会が必要かつ適切と認めたもの

●注意事項

- (1) 収支予算書の内訳欄に、算出根拠となる単価や数量を記入してください。
- (2) 賃金は、「賃金」を除く補助対象経費の総額の**10%以内**とします。
（「賃金」を除く補助対象経費の総額が15万円の事業の場合、賃金は1万5千円まで補助対象として認められます。）
- (3) 屋外での活動や危険な行為が伴う活動は保険に加入してください。
- (4) 単価（1件）5万円以上のものは見積書を添付してください。（賃金・報償費除く）
- (5) 会場等の使用料は料金のわかるものを添付してください。（パンフレット・会場のHPなど）
- (6) 交通費は、**合計2万円以内**とします。
- (7) 採択事業が多数となった場合、補助金を**全ての採択団体で按分して交付する等の可能性が**あります****ので、あらかじめご了承ください。

5 補助対象外経費

- (1) 団体の経常的な運営経費（事務所の家賃・光熱水費・電話代、ホームページ管理費、雑誌・新聞購読料、団体運営のために雇用している者の人件費等）
- (2) 団体構成員に対する人件費・謝礼等
- (3) 備品購入費
- (4) 食糧費（食事代、菓子代）
- (5) 土地・建物等の購入費・工事費・修繕費等及び団体の所有する備品などの修繕費等
- (6) 参加者に景品などを配付するための経費等
- (7) 事業実施団体が支払ったことが確認できない経費（領収書・明細書がない経費）

6 応募期間

2022年4月28日（木）～2022年5月22日（日）

※まず申請案を、2022年5月15日（日）19時までに大津市市民活動センターにご提出ください。センターにおいて提出書類を確認の上、不備等がありましたらご連絡します。その場合は、修正の上、5月22日（日）までに再度ご提出ください。

（ご相談は日曜日を除く9時から19時まで）

7 応募方法

提案書提出時に書類の確認を行いますので、**直接書類をお持ちください。**（郵送等による提出はできません。）

提案書：

- 大津市市民部 協働のまちづくり推進室で配付。または市ホームページ（<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1170/index.html>）からもダウンロードできます。
- 大津市市民活動センターで配付。または大津市市民活動センターのホームページ（<https://movementotsu.com/>）からもダウンロードできます。

提出先：大津市市民活動センター（明日都浜大津1階）

※提出にあたっては、事前にご連絡をお願いします。

※公開プレゼンテーション審査の発表順は、**提案書の受付順**となります。

相談窓口：大津市市民活動センター（明日都浜大津1階）

※上記の応募期間中、制度の概要説明や申し込み手続き等についても、随時相談を受け付けます。（事前にご連絡をお願いします。）

8 提出書類

- 大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助事業提案書（様式第1号）
- 事業計画書（様式第2号）
- 収支予算書（様式第3号）
- 暴力団等の排除に係る誓約書兼承諾書（様式第4号）
- 団体構成員名簿（様式第5号）
- 団体規約
- 活動実績がわかる資料等
- 応募チェックシート（団体欄にチェックしてください。）

※**提案書を電子データでも提出してください。**

（電子データはメールにて提出可（3MB以内）。添付資料等で提出困難な書類は除く。）

mail：moveinfo@movement.otsu.com

※提案書の記入にあたっては、具体的に、わかりやすい表記に努めてください。

9 審査・選考方法

●**審査委員会の構成**…市民活動に関する有識者、NPO関係者、企業関係者、行政で構成する「**天津市パワーアップ・市民活動応援事業審査委員会**」が審査・選考します。

●**審査**…公開プレゼンテーション審査により行います。

※公開プレゼンテーション審査について

2022年6月2日（木）10時～

応募団体による公開プレゼンテーションの後、質疑応答になります。すべての公開プレゼンテーション・質疑応答が終了後、非公開の審査委員会を開催し、採択された事業を当日発表します。

※審査委員会委員及びその3親等以内の親族が応募団体の構成員になっている場合は、審査の公平性を期すため、自主申告により、その審査から外れるものとします。

【公開プレゼンテーションの発表方法】

- ・パソコン、模造紙等による発表とします。**提案書の提出時に**発表方法をお知らせください。
- ・パソコンを利用した発表ができますが、動作確認のため、**指定の期日までに**電子データをお持ちください。（使用可能なソフト：PowerPoint2010・Excel・Word ※3MB以下であれば、メールでの添付送信による提出も可能です。事前にご相談ください。）
- ・発表用のマイク、ホワイトボード（&マグネット）、ノートパソコン、プロジェクター、スクリーンはこちらでご用意いたします。準備等の関係上、パソコンの持ち込みはご遠慮ください。
- ・発表時間は、**おおむね10分発表、10分質疑応答の計20分程度**になります。

●審査委員会では、次の5つの**審査項目**に沿って採点し、候補事業を選考します。
事業の企画や提案書の作成、プレゼンテーションの際の参考にしてください。

(1) 公益性・公共性

(2) 実現性・計画性

(3) 先駆性・発展性

(4) 事業効果・有効性

(5) 事業の継続性・団体の自立性

記入例

(関係)

大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助事業提案書

すべてA4版で提出

2022年5月10日

(宛先)

大津市長

(応募団体)

- (1) 所在地 〒520-8575
大津市御陵町3-1
- (2) 団体の名称 ○○学区の安心・安全プロジェクトチーム
- (3) 代表者 大津太郎
住所 大津市○○町○-○
TEL ○○○-○○○○
E-mail ○○○○@otsu.com

2022年度大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助事業として、下記のとおり企画を提案します。

記

1 企画提案する事業の名称 ○○学区の安心・安全プロジェクト

2 提案事業の部門

- A：トライアップ部門
 B：「ワカモノ」チャレンジ部門

収支予算書（様式第3号）の収入の③大津市補助金の額

3 補助申請予定金額 186,900円

4 企画提案する事業の完了予定年月日 2023年 3月 1日

5 補助採択実績

- A：トライアップ部門 採択回数： 0回
(令和3年度以前にスタートアップ部門又はステップアップ部門として採択されたことがある場合は、その採択回数を含む。)
- B：「ワカモノ」チャレンジ部門 採択回数： 0回

事業終了後、実績報告書が提出できるまでの日（2023年3月31日以前）

6 関係書類

- (1) 事業計画書（様式第2号）
(2) 収支予算書（様式第3号）
(3) 暴力団等の排除に係る誓約書兼承諾書（様式第4号）
(4) 団体構成員名簿（様式第5号）
(5) 団体規約等
(6) その他市長が必要と認めるもの

団体の活動がわかる資料や報道記事、法人の場合は登記簿の写し、提案する事業の関係資料（見積書、パンフレット、講師プロフィール）など

事業計画書

<p>事業概要</p>	<p>※A：トライアップ部門にあつては、選択したテーマを併せて記載すること。 <u>【選択テーマ】福 祉</u> ・安心・安全をテーマとしたセミナー・ワークショップの開催 ・地域と連携した高齢者の見守り活動を実施 など、<u>事業の概要について端的に記載してください。</u></p>
<p>事業の趣旨、効果</p>	<p>①事業を通してどのような地域の課題解決やまちの活性化につなげることができるか ・独居老人の現状把握について ・地域全体で地域の高齢者を見守るという意識の醸成について など、<u>事業と地域課題・まちの活性化との関連性について記載してください。</u></p> <p>②事業を通してどのような人材を発掘・育成し、活躍させたいか ・高齢者の見守り活動に対し意識を持って取組む人材の育成について ・参加者の今後の運営への関わり方について など、<u>目指す人材のイメージや事業との関わりについて記載してください。</u></p> <p>③事業を通してどのように地域コミュニティや人のつながりを深めることができるか ・地域の団体などの事業への関わりについて ・様々な人材の事業への関わりについて など、<u>多様な主体の関わりについて記載してください。</u></p>
<p>事業内容（詳細）</p>	<p>（日時、実施場所、実施方法、対象者、参加予定人数、参加費、宣伝方法など具体的に） ・安心・安全セミナー・ワークショップの開催 日時：2022年7月19日、2022年11月15日 13時～ 場所：〇〇センター 実施内容：〇〇大学〇〇教授から「〇〇〇〇〇〇」と題した講義 その後、6人毎のグループになり、高齢者の見守りをテーマに〇〇学区の現状や課題、解決策を考えるワークショップを実施する。NPO法人〇〇〇にファシリテーターをお願いする。 実施体制：実施団体他、協力団体から応援を含め●●人、学生ボランティアスタッフ●●人で実施する。 対象者：〇〇学区住民、〇〇学区勤務者など 参加予定人数：各50名 参加費：500円 宣伝方法：〇〇学区安心・安全ニュースを作成し全戸配付 自治会回覧板・掲示板でのチラシ・ポスターによる案内チラシ 〇〇〇部 案内ポスター 〇〇〇部 作成 その他、報道機関への宣伝</p>

どのような事業を実施するのか書面でわかるように、具体的に記入してください。
 予算書（様式第3号）の内容と合うようにしてください。

事業のポイント	<p>(他団体との連携や役割分担、新たな視点での創意・工夫など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師等として関わる団体の役割について ・他団体と連携して事業を実施することの効果について ・社会情勢に対応した事業運営の工夫について <p style="text-align: center;">など、<u>事業のポイント</u>について記載してください。</p>
---------	--

事業のスケジュール

月 次 計 画	4月	<p>チラシの作成</p> <p>チラシを近隣住民に配付、近隣学区自治会での啓発チラシ配り</p>
	5月	<p>安心・安全教室WEB講座の開催（1）</p>
	6月	<p>安心・安全教室WEB講座の開催（2）</p>
	7月	<p>第1回 安心・安全セミナー・ワークショップの開催</p>
	8月	<p>チラシの作成</p> <p>チラシの全戸配付、近隣学区自治会での啓発チラシ配り</p> <p>安心・安全教室WEB講座の開催（3）</p>
	9月	
	10月	<p>●●●●の開催</p> <p>安心・安全教室WEB講座の開催（4）</p>
	11月	<p>第2回 安心・安全セミナー・ワークショップの開催</p>
	12月	
	1月	<p>安心・安全教室WEB講座の開催（5）</p>
	2月	<p>安心・安全教室WEB講座の開催（6）</p>
	3月	<p>実績報告書の提出</p>
備考	<p>毎月1回（第2日曜） 運営会議の開催</p>	

月別に活動概要を記入してください。「詳細な事業内容」と「予算書(様式第4号)」の内容と合うようにしてください。

補助年度以降の展望

事業目標をどのように設定し、どのような事業を行っていくか。

- ・ 将来目指すべき理想の事業運営について
- ・ 1年後、2年後、3年後の事業展開について

など、今後の事業の展望について記載してください。

事業が継続するように、また団体が自立できるように、どのような工夫を行っていくか。

- ・ 団体の自立に向けた運営面（資金、人材）での工夫について
- ・ 1年後、2年後、3年後の具体的な団体運営について

など、今後の団体運営について記載してください。

その他

（市役所の連携したい部署名とその理由、特筆すべき活動実績など）

- ・ 市役所で連携したい部署や各部署の役割について
- ・ メディアでの放送や新聞への掲載など、団体の過去の活動実績について
- ・ その他、アピールしたいポイントについて

など、上記で記載いただいた事に加えて何かあれば記載してください。

収 支 予 算 書

賃金は、「1賃金」を除く補助対象経費の総額（2～8の和=395,000円）の10%以内

支出

(単位:円)

	科 目	金 額	内 訳
1	賃金	28,800	安心・安全セミナー・ワークショップ当日バイト代 @800×3h×6人×2回=28,800円
2	報償費	120,000	〇〇大学〇〇教授 @30,000×2回=60,000円 NPO法人〇〇〇 @30,000×2回=60,000円
3	消耗品費	85,000	事務用消耗品（チラシ用紙・文房具・模造紙・紙芝居材料代など）75,000円 会議お茶代 @100×10人×10回=10,000円
4	印刷製本費	110,000	マップ作成費 50,000円（500部）※見積書添付 チラシ作成費 50,000円（1,000部）※見積書添付 資料コピー代 @10×1000枚=10,000円
5	役員費	10,000	保険料 @5,000円/日×2回
6	委託料		
7	使用料・賃借料	50,000	〇〇センター使用料 大ホール（安心・安全セミナー・ワークショップ） @5,000×3時間×2回=30,000円 小会議室（運営会議） @1,000×2時間×10回=20,000円
8	交通費	20,000	構成員交通費（〇〇-△△間、□□-●●間）
	①合計 (①=⑤)	423,800	交通費は2万円以内

会場使用料のわかる資料を添付

交通費は2万円以内

※必要経費の積算根拠を確認するため、別途必要資料を提出願うことがあります。

収入

(単位:円)

名 目	金 額	内 訳
②事業収入	50,000	セミナー参加費 @500×50名×2回=50,000円
③大津市補助金	186,900	
④自己資金 (①-(②+③))	186,900	団体活動資金(入会金、会費、寄付金)
⑤合計 (①=⑤)	423,800	
補助金計算式	(①支出合計-②事業収入) × 補助率 = ③大津市補助金 (423,800円-50,000円) × 1 / 2 = 186,900円 (上限額 200,000円) ※ 1円未満は切捨て	

※②事業収入…参加費、入場料など

A : トライアップ部門 補助率 1/2

暴力団等の排除に係る誓約書兼承諾書

2022年 5月10日

(宛 先)
大津市長

〔法人、団体にあつては事務所所在地〕

住 所 大津市御陵町3-1
〔法人、団体にあつては法人・団体名、代表者名〕

(ふりがな) 〇〇がっくのあんしん・あんぜんぷろじえくとちーむ おおつたろう
〇〇学区の安心・安全プロジェクトチーム

氏 名 大津太郎
〔代表者の生年月日・性別〕

生年月日 昭和40年 5月 1日 性別 男 女

私は、大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助金の交付申請に当たり、下記の項目の要件に該当しないことを誓約するとともに、下記に該当するか否かに関し、大津市が滋賀県警察本部に必要な照会をすることについて承諾します。

なお、申請後において、下記に該当していることが判明したとき、又は該当する事態になったときは、速やかに貴職宛に申し出るとともに、同補助金の交付を取り消されることがあっても、何ら異議のないことを誓約します。

記

- 1 自己又は自社若しくは自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。
 - (1) 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)
 - (2) 暴力団員(法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)
 - (3) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者
 - (4) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与している者
 - (5) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - (6) 前各号のいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしているもの

- 2 前項各号に掲げる者は、その経営に実質的に関与している法人その他の団体ではありません。

様式第5号（第7条関係）

法人の場合は、登記簿の写しを添付してください。

団体名	
-----	--

団体設立（活動開始）年月日
（うち法人の場合は登記年月日

年 月 日
年 月 日

団体構成員名簿

番号	住所	役職名	氏名	フリガナ	生 年 月 日				年齢	性別	備考
					元号	年	月	日			
例	大津市御陵町 3-1-101	事務局長	大津 太郎	オオツ タロウ	S	40	5	1	歳		
割合	(A部門は御記入ください。) 大津市在住の構成員の割合 約 %					(B部門は御記入ください。) 39歳以下の構成員の割合 約 %					

10人を超える場合はコピーして人数分記入してください。同じ内容が記載されていれば他の様式でも結構です。
事業計画書1ページ目の団体の構成員数と合わせてください。
住所・年齢は提案書提出日時点のもの。

パワーアップ・市民活動応援事業 応募チェックシート

団体名 ()

書類等	確認事項	団体	活動センター
応募前	大津市市民活動センターに登録したか。		
	大津市の財源による他の補助金や委託金等及び国・地方公共団体・その他外郭団体（財団法人等）の助成金や委託金等と併用していないか。		
	提出書類は全てA4版のサイズか。（提出部数1部）		
提案書	大津市内に活動拠点（団体の所在地）を有しているか。		
	団体の所在地と規約等に記載されている団体の所在地とは一致しているか。		
	印鑑は団体の代表者の印であるか。（団体の印ではないか。）		
	補助申請予定金額は収支予算書の③大津市補助金と同額であるか。		
	完了年月日は翌年3月31日までであるか。		
事業計画書	補助事業の採択回数は、3回を超えていないか。 （※採択回数には前身の団体含む（団体の名称変更や法人化等））		
	団体設立（活動開始）年月日と規約等の設立年月日とは一致しているか。 法人の場合は、法人の登記年月日と登記簿の年月日とは一致しているか。		
	『A：トライアップ部門』で応募の場合は、応募時点で設立6年を超えていないか。		
	団体の構成員は10人以上であるか。		
	実施する場所は大津市内であるか。（詳細な事業内容の場所など）		
収支予算書	提案する事業の経費のみを計上しているか。団体全体の事業の経費や団体の経常的な運営経費を計上していないか。		
	補助の対象とならない経費が計上されていないか。		
	内訳欄に算出根拠となる単価や数量を記入しているか。また、円単位で記入しているか。		
	賃金を計上している場合は、賃金を除く補助対象経費の合計の10%以内であるか。		
	単価（1件）5万円以上の費用を計上している場合は、見積書を添付しているか。		
	危険な行為や屋外での活動がある場合は、保険料を計上しているか。		
	会場等の使用料は料金のわかる資料を添付しているか。		
	交通費を計上している場合は、2万円以内であるか。		
	支出の合計額と収入の合計額が同じか。		
	補助金計算式、補助金額が正しいか。（補助率、上限額など）		
構成員名簿	氏名の前に団体の役職名を記入しているか。また、規約等の役職数と一致しているか。		
	『A：トライアップ部門』の場合、大津市民が構成員の7割以上であるか。		
	『B：「ワカモノ」チャレンジ部門』の場合、若者（39歳以下の方）が構成員の7割以上であるか。		
添付資料等	団体の規約等の写しを添付しているか。		
	法人の場合は、登記簿の写しを添付しているか。		
	提案書の電子データはメール送付（3MB以内）したか。		



A series of horizontal lines for writing, consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line, repeated down the page.

大津市 市民部 協働のまちづくり推進室

〒520-8575 大津市御陵町3番1号

電話：077-528-2905 FAX：077-523-0411

メール：otsu1170@city.otsu.lg.jp

大津市市民活動センター

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号

電話：077-527-8661 FAX：077-527-8662

メール：moveinfo@movement.otsu.com

※本事業についての問い合わせは、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。